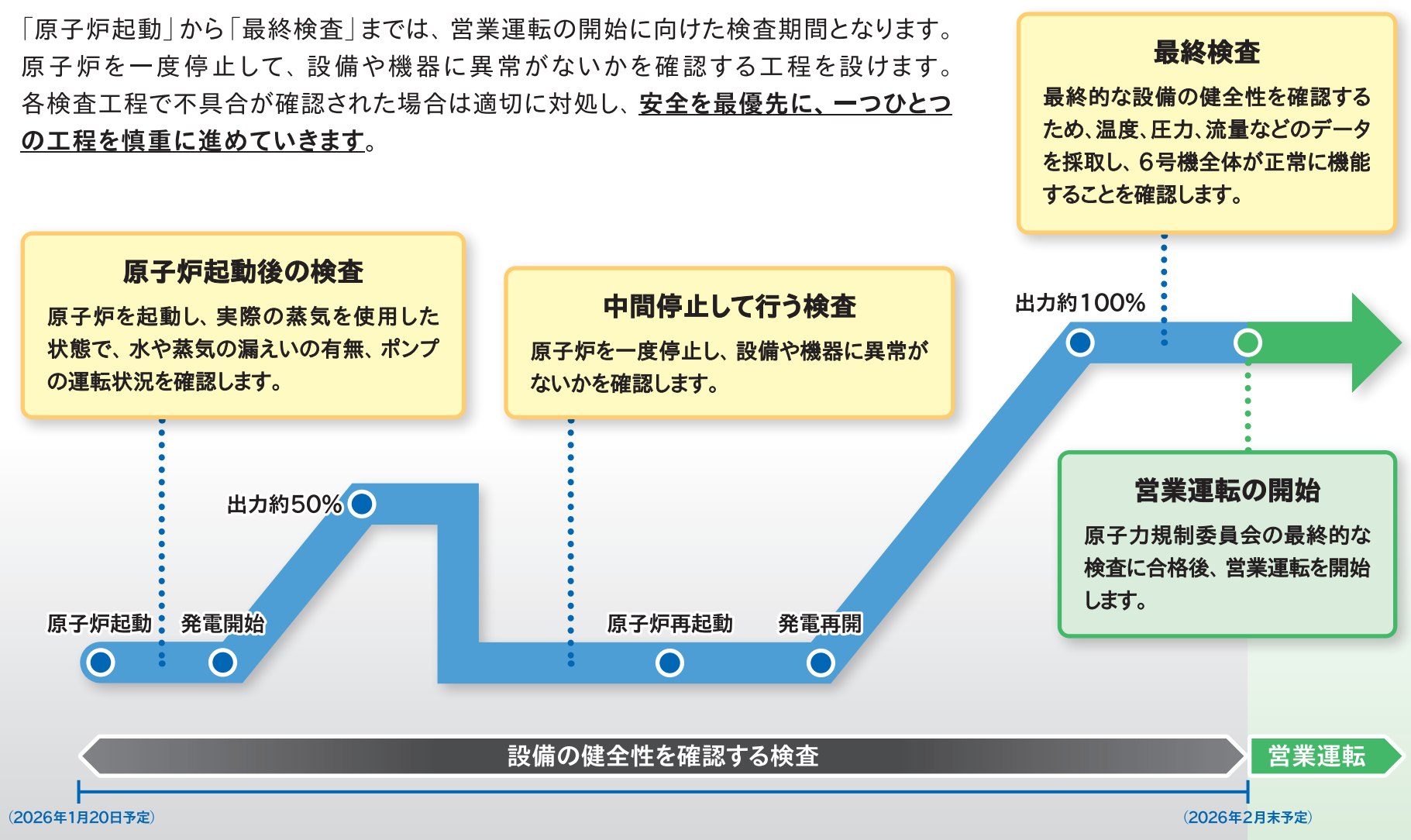


柏崎刈羽原子力発電所6号機を起動して、安全を最優先に、慎重に設備の健全性を確認します

- 2025年11月に、新潟県知事が、国の再稼働の方針への理解要請に対し、了解する旨のご判断を示されたことについて、12月の新潟県議会でさまざまなご議論をいただき、知事を信任する旨の決議がなされました。
- 当社は、12月24日に、6号機の原子炉を起動して設備の健全性を確認するための申請書を、国の原子力規制委員会に提出しました。承認が得られた後、原子炉を起動し設備の健全性確認を行います。
- 原子炉を運転するのは約14年ぶりとなるため、安全を最優先に、一つひとつの工程を慎重に進めていきます。
- 今後も原子力発電所の状況や安全対策について、県民の皆さまに丁寧にお伝えしていきます。
- また、新潟県のさらなる発展に貢献するため「安全・安心な暮らしのための基盤整備」や「地域経済の活性化」に取り組んでいきます。

6号機の原子炉を起動して行う設備の健全性確認の工程

「原子炉起動」から「最終検査」までは、営業運転の開始に向けた検査期間となります。原子炉を一度停止して、設備や機器に異常がないかを確認する工程を設けます。各検査工程で不具合が確認された場合は適切に対処し、安全を最優先に、一つひとつの工程を慎重に進めていきます。



「柏崎刈羽原子力発電所 情報ポータル」で6号機などの最新情報を掲載しています

右の二次元コードから
ご覧ください。



柏崎刈羽原子力発電所 情報ポータル



https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/kk-np/kk-info/index-j.html



皆さまの、ご質問・ご懸念にお答えします

安
全
性

災害が起きても 発電所は大丈夫なの？

私が
お答えします

柏崎刈羽原子力発電所長
いなぎ たけゆき
稲垣 武之



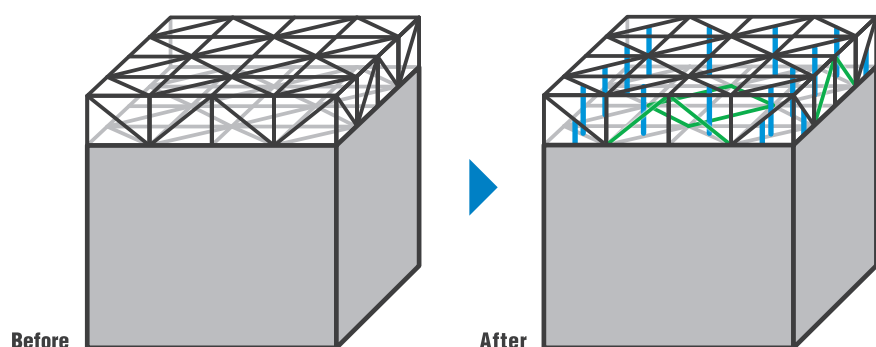
地震に備えています

POINT

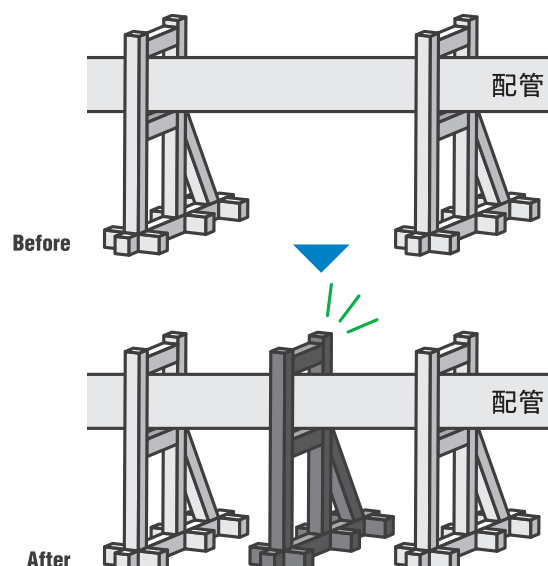
最大規模の地震に備え 発電所設備の耐震を強化しています

屋外設備や配管などに耐震強化工事を実施しています。

原子炉建屋の屋根を支える
トラス（鉄骨構造）の強化



建屋内の配管などのサポートを強化



柏崎刈羽原子力発電所では、新潟県中越沖地震の知見に加え、想定される最大規模の地震に耐えられるように設計し、従来から大幅に見直された新たな基準※に適合する強固な作りをしています。

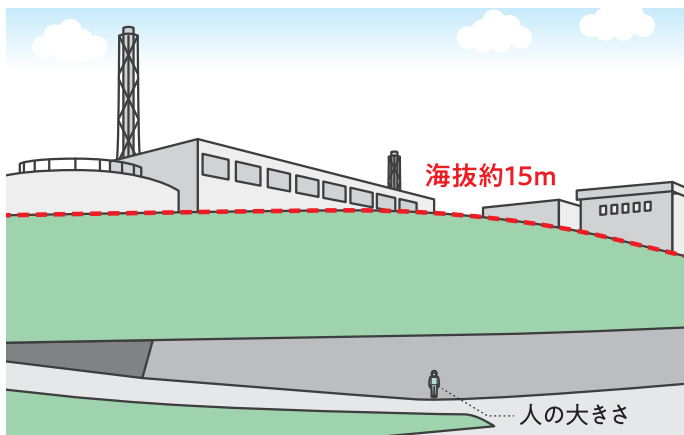
※2013年7月に新規制基準が施行され、地震・津波などに対する従来の基準や建物・設備の耐震設計が大幅に強化されました。

津波に備えています

POINT
01

海拔約15mの防潮堤に増強し 津波をブロックします

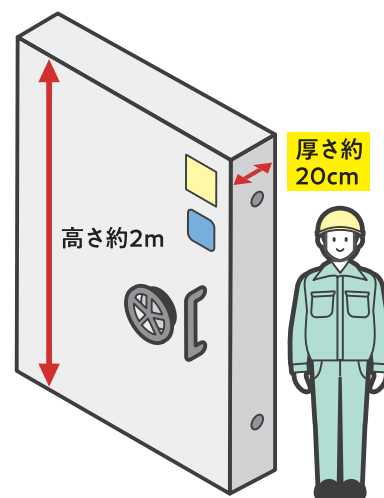
海拔約12mの敷地に約3mの盛土をし、海拔約15mの防潮堤に増強しています（5～7号機側）。想定される最大の津波高さ約7～8mに対し、約2倍の高さの防潮堤で津波に備えています。



POINT
02

防潮堤を越えた場合でも、頑丈かつ密閉性の 高い水密扉で建屋への浸水を防ぎます

建屋の重要エリア（緊急時に原子炉を冷却する装置や非常用電源などを設置）に水密扉を設置し、浸水を防ぎます。



※イラストはイメージです。

柏崎刈羽原子力発電所の安全性について、県民の皆さまにわかりやすく、丁寧にお伝えしていきます。

東京電力通信について、皆さまのご意見をお聴かせください。右の二次元コードから受け付けしています。
お寄せいただいたご意見は今後の広報活動に活かしてまいります。



<https://tepc-se.azureweb sites.net/s/kaizensochi>

TEPCO

お問い合わせ

東京電力ホールディングス新潟本社
〒950-0965 新潟市中央区新光町11番地7 新潟光ビル

025-283-7461
9:00～17:00（土日・祝日・年末年始除く）